

# 釜ヶ崎講座ニュース

No. 40

2012年11月14日

釜ヶ崎講座

大阪港郵便局私書箱40号

大阪市西成区萩の茶屋1-9-7

釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局 090-2063-7704

Mail Kamakouza@cwo2.bai.ne.jp

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kamagasakikouza>

ご無沙汰しております。会員、読者のみなさん、いつも釜ヶ崎講座にご支援、ご協力頂き、誠に有難うございます。この「釜ヶ崎講座ニュースNo. 40」にて、次回「第18回講演のつどい」ほか、最近の取り組みを簡単にご報告させて頂きたいと思います。

## 1 「第18回釜ヶ崎講座講演のつどい」

開催いたします!!

—「西成特区構想」とはいかなるものか!—

「医療・福祉・生活保護を中心に

釜ヶ崎の労働者・住民の命と暮らしは守られるのか」のテーマで

みなさん、今春周知のように橋下大阪市長は「西成特区構想」をメディア等を利用しながら、大々的に打ち出しました。従来からあった「生活保護のまち」「日雇労働者のまち」「貧困層の暮らす密集地」というイメージを払しょくするとして、「西成特区有識者座談会」で議論を重ね、労働、医療、教育、住居等、各分野での「問題点」を検討してきました。地元の人々も話し合いに参加していく中で「町おこし」課題も話し合われてきました。釜ヶ崎（あいりん地区）一帯の「国際化」の話では外国人観光客の誘

釜ヶ崎講座は去る２０１２年７月２１日、西成市民館において、中川おさむ衆院議員（民主党ホームレス自立支援議員連盟幹事長）を招いて、同年６月１５～２０日にかけて、国会にて成立した「延長ホームレス自立支援法」と生活保護制度をとりまく状況と課題ということで講演をして頂きました。当日は会員をはじめ、西成地域住民の人もふくめて２０人の参加でした。中川さんは１９９０年代の府会議員時代からホームレス問題に精通して政策要求、活動をこなしてきた政治家です。反失連の「野営闘争」にも呼応して、一貫した議会内外の運動を担って来られました。講演の中では「自立支援法延長は一つの成果として受け止めたいが、厚生労働省が合わせて提起した「生活戦略支援」は困窮者層に対して必ずしも、実のある解決策とは、ならないと思う。生活保護問題に関連して言えば、自己責任が強調される昨今、消費税、ＴＰＰや原発に明確に反対する運動、グループづくりに力を注ぎ、そこから政策の実現・運用を

図っていくほうが、緊要と感じている。」と述べられました。会場からの意見の形で、NPO釜ヶ崎支援機構の山田さんは「西成特区化構想」の問題にふれて、『構想』と住民との要求に大きな隔たりがある」ことを述べ、「住民側の地域再生への動きをよく見ながら、安心して住み暮らせるための働きかけをしていきたい。」と発言しました。この日は、就労、生活支援に関して、情勢認識と実効的施策の必要を痛感できた学習会となりました。そして何よりも、「延長自立支援法」の成果をそれぞれの持ち場にて生かしていく取り組みを強めていこうではありませんか。当日のご参加、有難うございました。

### 3 「第41回釜ヶ崎夏まつり」に参加。

#### 恒例の「釜ツアー」もおこなう!!

第41回釜ヶ崎夏まつりは、今年も三角公園をメイン会場としながら、8月12～15日まで仲間たちの協力で開催、大いに盛り上がるなか、成功を勝ち取りました。私達釜ヶ崎講座も実行委員会にはいり、まつりの成功のため、協力していきました。今年は、三角公園の会場で釜ヶ崎講座の過去に行った「講演のつどい」の記録を中心にまとめた「パンフレット」4種類を販売させてもらい、多くの参加者の皆さんに、買って頂きました。有難うございました。(次回、講演のつどいでまた、販売いたします。見て頂けたらと思います。)。さて、第41回釜ヶ崎夏まつりはメインである15日には、これまで亡くなった釜の人々の慰霊祭が夕刻、執り行われ、安心して住み暮らせるため、そして、基地も原発もない国にさすため、さらに闘いと運動を強めていくことを誓いあいました。

講座は8月15日、午後よりこれも恒例となり、いつもお世話になっている水野阿修羅さんを案内人として「夏まつり釜ツアー」を開催しました。講座スタッフをふくめ25名の参加で中途、休憩もはさんで3時間以上の行程でしたが、当日は真夏のわりには、しのぎやすい天候にも助けられて一同、元気に釜ヶ崎の発見ツアーをやりきりました。今回は「西成特区化構想」で焦点化している建物、施設を見ていくという趣向でめぐって行きました。萩の茶屋小学校、今宮中学まえでは、「小中一貫校構想」の話が出て、「寄せ場」の街から何とか無理やり「新しい街」に変えていきたい橋下市長の思惑が想起されました。今夏のツアーには何度も顔をみせてもらっている会員の人のみならず、金沢の常連の方の紹介にて、金沢の学生、青年の方のおおぜいの参加がありました。このツアーのしめくくりとして三角公園横のシェルター

にて、意見、感想の場が設けられました。金沢からの青年からは、特に釜ヶ崎労者の「特掃」の仕事と賃金、そしてどう現実の生活乗り切るための努力をしているのかの質問が集中して出ました。シェルターにて働く佐々木さんが質問に答えるかたちで社会的就労の確立のため、今日の特掃機会の拡大を中心とした、しくみの確立を是非とも進めていくことの重要性を語りました。今年のきたる越冬闘争時も釜ツアー、行いますので、その時のご参加またよろしく願いいたします。当日のみなさんのご参加ありがとうございました。

## 4 反貧困、反基地、反原発の集会に参加！

釜ヶ崎講座はこの秋季、京都・大阪にて開催された「10・20反戦・反貧困・反差別 in 京都」、「戦争あかん!!基地いらん!!関西のつどい」の二つの集会に、反失連、釜日労の仲間と共に参加、反貧困、反基地、反原発の運動前進のため団結してたたかいました。みなさん、共に考え、行動していきませんか!!

また、みなさんの声、ご要望をお聞きしますので、その時は事務局まで気軽にご連絡ください。

以上。